

トルコ・シリア地震



2023年2月6日、トルコ南東部のシリアとの国境付近を震源とする **マグニチュード7.8の地震**が発生し、その後もマグニチュード7クラスの余震が続きました。数十万の建物が損壊し、トルコ、シリア両国合わせて約6万人が犠牲となる甚大な被害を受けました（2023年5月5日時点）。発災から半年を迎える現在も、多くの人々が避難生活を余儀なくされています。

氷点下にもなる厳しい寒さのもと、さらに、シリアでは長年にわたる紛争などの影響により人道支援が困難をきわめる中、トルコとシリア両国の赤新月社（イスラム圏の赤十字社）は発災直後から救援活動を開始しました。国際赤十字のネットワークはそれらの活動をサポートし、総力を挙げて被災者への支援に取り組んでいます。

被災地では発災直後の救命活動から、食料や水、住居、保健医療、こころのケアの提供など被災した方々のいのちと健康、尊厳を守る幅広い支援が続けられています。

トルコ赤新月社

※2023年6月1日時点

- 温かい食事の提供**
4億500万食以上
- 保健医療支援**
4万7,127人
- 現金給付支援**
12万4,000人（約15億4,600万円）
18万4,177枚の買物券（約6億4,500万円）
- 血液の供給**
42万1,629人の献血者
- 心理社会的支援(こころのケア)**
16万9,604人
- 救援物資の配付**
100万件以上
ヒーター、テント、毛布、衛生用品など

シリア赤新月社

※2023年6月20日時点

- 保健医療支援**
183万7,664人
巡回診療、こころのケア、母子保健など
- 救急救命活動**
4,880件
救助・応急手当、病院への搬送など
- 避難/移動支援**
2万1,645人
- 保護、予防・啓発活動**
26万643人
ジェンダーに基づく暴力の予防啓発活動、子ども向けこころのケア活動など
- 給水及び復旧支援**
15万4,862人
- 救援物資の配付**
524万7,903件
食料、衛生用品、生活必需品など



日本赤十字社

2023年2月9日から5月31日まで「トルコ・シリア地震救援金」の募集を行い、寄せられた救援金をもとに、国際赤十字への資金援助や医薬品などの物資支援、人的支援など順次支援を行っています。

トルコ・シリア地震救援金 受付金額 57億7,083万5,074円（2023年6月21日速報値）

※58億円規模の支援計画をもとに救援・復興活動を実施中（2023年7月3日時点）

トルコへの支援 (2023年7月13日時点)

| | | | | |
|---|---------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------|
| 連盟アピールを通じた資金援助 18億1,000万円 (うち7億円は食料支援、7億円は現金給付支援へ使途指定) | トルコ赤新月社保健医療支援 5億円 | 救援物資支援 5,500万円 (毛布1万枚/飲料水用容器5,000個/ブルーシート1万枚/キッチンセット2,000個) | 衛生(シャワー)車両等支援 1億600万円 | 救援車両支援 1億9,100万円 |
|---|---------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------|

シリアへの支援 (2023年7月13日時点)

| | | | | |
|--|---|--|--|-----------------------------|
| 連盟アピールを通じた資金援助 6億1,000万円 | ICRCアピールを通じた資金援助 1億円 (うち3,000万円は物資支援へ使途指定) | シリア赤新月社巡回診療等 保健医療支援 2億円 | パレスチナ赤新月社シリア支部 への緊急資金援助 1,000万円 | 医薬品支援 7,100万円 |
|--|---|--|--|-----------------------------|

活動の詳細は下記の
二次元コードから
ご覧ください。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society